

第2回地域創生戦略会議における主な意見

○第2回戦略会議を実施(書面開催)し、12月上旬～中旬にかけて各委員に「次期戦略の全体像(今回資料1 P2)、第2期戦略の評価(〃 P3)、人口の将来展望及び指標・評価(〃 P8)」を送付し、意見を聴取(●…委員意見、⇒…県の考え方・対応)

基本理念に関して

- 副題について、「縁」に込められた様々な意味、そのレイヤーの多彩さを伝えるため、また、今後の地域創生にはグローバルな視点が欠かせないため、以下の赤字部分のような追記をして表現してはどうか？

～地域や人をつなぐ**多様な縁**を生みだし、共創の取組を五国に広げ、**国内外に発信する**～

⇒ご意見を踏まえ、「縁」の多様性、グローバルな観点の重要性については、戦略の本体にその趣旨を記載。一方、基本理念は簡潔明瞭とする趣旨から、**原案を維持**

- 「五国の多様性」には地域の多様性だけではなく、人の多様性も含まれると考える。多様な人とのつながりが活発な地域が「住んでみたい街」と思われるようなイメージ戦略も重要。

⇒お見込みの通り。次期戦略では「居場所・役割」や「寛容性」の方向性を明示し、誰一人取り残さず、人の多様性を尊重した取組を推進する

3つの柱・8つの方向性に関して

- 「ひとの動き」はもともとあるものなので、どのような「ひと」の動きを生みだしたいのか明示してはどうか？「経済」に関しても同様。

⇒ご意見を踏まえ、戦略の本体に各方向性の狙いや対象とする分野等がわかるよう記載。一方、名称は簡潔明瞭とする趣旨から、**原案を維持**

- 3つの柱、8つの方向性共に曖昧な表現が多い。

⇒ご意見を踏まえ、戦略の本体でそれぞれの考え方、背景等を詳しく記載

- 8つの方向性や戦略推進PJについて、予算規模を明記すべきでは？

⇒戦略では中長期方針の記載とし、個別事業及び予算については、毎年度策定するアクションプランにて対応

指標・評価に関して

- 戦略推進PJに「若者Z世代」や「外国人」を挙げるなら、若者の定着率や20～24歳の転入超過数、外国人の在留資格に着目した指標等が必要。

- (資料中の記載では)経済に関する指標が少ない。「五国のナリワイ」PJにある「地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組」は重要と考えるので、これを測る指標の設定が必要

⇒ご指摘趣旨の指標を設定する方向で検討

その他・個別取組に関して

- 地域の中小企業では人手不足が死活問題。希望が持てる対策を。

- 人手不足に加えて、後継者問題も深刻。具体的な取組が必要。

⇒ご意見を踏まえ、戦略の本体にその趣旨を記載

- 有機農業の振興も重要であるが、農業従事者の高齢化や減少も深刻であるため、省力化に繋がる農業DXや営農組織や水利組合等の農村インフラの強化にも取り組まれない

⇒ご意見を踏まえ、戦略の本体にその趣旨を記載(「五穀豊穡」PJでも重点)

- 県内に点在する移住者等を中心に形成されたコミュニティを繋ぐことで新たな起業や地域活動等に繋がることから、そのネットワーク創出を支援すべき

⇒ご意見を踏まえ、戦略の本体にその趣旨を記載(「五縁」PJでも重点)

- 2070年時点で、地域でのハード面・ソフト面での各種インフラが維持できているかが重要。いわゆるコンパクトシティ等に関する施策はあるのか？

⇒コンパクト化については中長期的な課題と認識。当面は人口減少が進んでも交通インフラや医療、地域コミュニティの維持等、暮らしの持続性を確保する取組を展開することとし、戦略の本体にもその趣旨を記載